

生産者の声 女性の元気がむらの活力につながる

西郷地区特産物をつくる会

谷口 秀さん / たにくちまさる

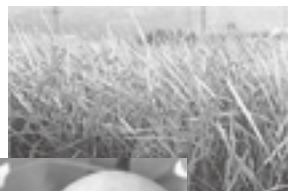
河原町小畑・69歳

平成8年に「西郷地区特産物を考える会」を発足し、12年からは「つくる会」に。さらに、14年12月に湯谷荘内に「せせらぎ食堂」をオープンし、土・日曜日に営業しています。会員が無農薬で栽培したそばを自然乾燥し、自家製粉したそば粉を手でこね、手打ちしたそばを、主に温泉の入浴客に提供しています。煮物や天ぷらなどの野菜やお茶も、すべて地元の食材を使用しています。つゆも化学調味料はいっさい使っていません。会員はほとんどが女性で、自分たちが作



った食材を、直に消費者のみなさんに味わっていただくことの喜びを実感しながら働いています。このたび、思いもかけず農林水産大臣賞をいただきました。地道な活動が評価されたのだと会員全員が喜んでますし、今後の活動の励みにもなりました。

耕作放棄地が約1・5倍になるなど、農業生産力の低下、イノシシなどによる農作物被害の拡大が懸念されています。また、林家数も412戸、林野面積492畝、漁業経営体65団体、漁業従事者世帯21戸、漁獲量も海面漁業133ト、内水面漁業147トそれぞれ減少しています。



主要農林水産物の収穫量

二十世紀梨	5,860 トン
らっきょう	1,940 トン
米	16,300 トン
大豆	491 トン
じゃがいも	728 トン
なす	352 トン
トマト	578 トン
きゅうり	817 トン
柿	822 トン
木材	25,800 m ³
椎茸 (生20ト、乾燥12ト)	
木炭	41 トン
カレイ	607 トン
ハマチ	340 トン
ズワイガニ	328 トン
イカ	270 トン
アユ	70 トン
フナ・コイ	10 トン

生産力の低下

一方、10年前と比較して、農家は、1699戸、農地面積は1017畝減少するとともに、農家世帯での65歳以上の高齢者の占める割合は、8・2割上昇し、

これからの農林水産業

本市が日本海沿岸の有数な都市として、発展していくためには、広大な農山漁村地域を今後とも維

基幹産業としての農業の振興を

米や大豆、野菜、果樹、畜産業など、農畜産物の生産振興を図るとともに、特に重点的に次のよう

生産者の声

効率的で安定した農業経営の確立

らっきょう生産

橋本 慎一郎さん / はしもとしんいちろう

福部町湯山・37歳



らっきょう、梨、メロン、エシャロットを中心に農業経営を行っていますが、その中でも特にらっきょうに力を入れています。鳥取市福部町のらっきょう生産は一時減っていたのですが、健康食ブームなどが追い風となり、平成元年を境にまた以前のように増えてきました。福部のらっきょうは、大つぶでシャリシャリとした食感がとても好評で、全国的にらっきょうと言えば福部町のらっきょうと言われるくらい有名です。しかし、生産が追いついていないのが現状です。市場では、質はもちろんですが、やはり安定した供給がいちばんに求められています。

これからのらっきょう農家は、農協や行政の支援のもと研修や研究などを積み、生産者全体のレベルの向上を図り、生産力のアップと、効率的で安定した農業経営を確立していくことが大切だと思います。そうすることが鳥取のらっきょうをさらに全国へ広め、地域の活性化や農業を志す若者が増えていくことにつながるのではないのでしょうか。